

「令和4年度 水に関するアンケート調査」の概要

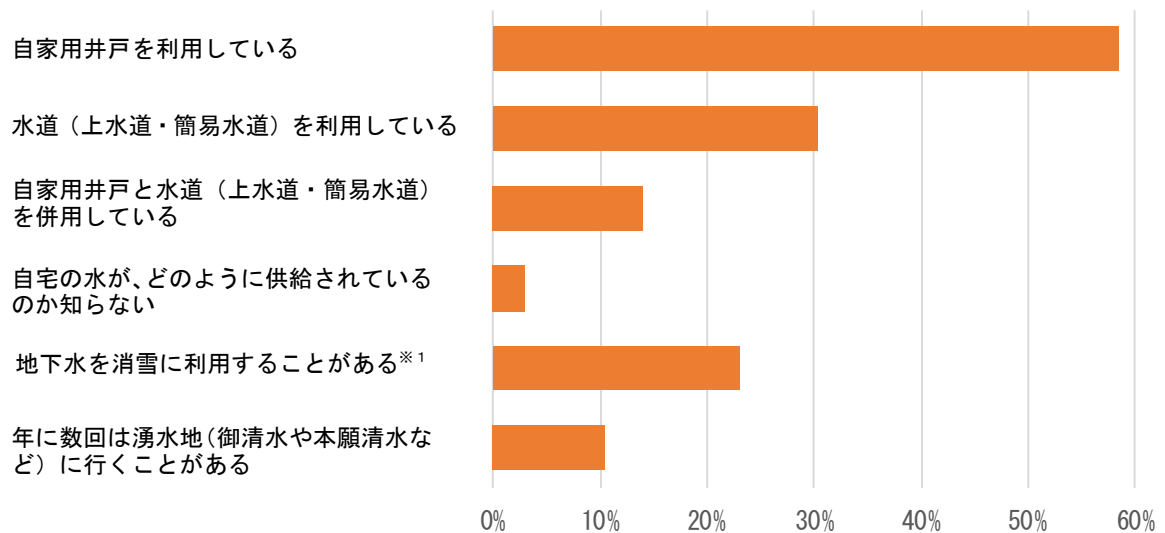
令和4年11月

1. 調査対象 満18歳以上の市民 1,000人
有効回収数 438人 回収率 43.8% (前回 42%)
2. 調査時期 令和4年9月9日から令和4年10月11日まで
3. 調査方法 郵便送付 (回答は、郵便およびwebにより回収)
4. 調査目的 水に関する市民の意識を調査し、今後の施策の参考とする
5. 調査項目 (1) 地下水の保全について (問1~6)
(2) 水の利用について (問7~10)
(3) 水環境について (問11・12)
(4) 自由記述 (問13)
6. その他
 - ・調査対象の抽出は、地域の偏りが無いよう各地区の人口に応じて抽出しています。
 - ・平成15年8月に実施した「地下水アンケート」と同じ設問については、カッコ内に前回の結果を記載しています。

地下水の保全について

問1 あなたは、日常生活で地下水とどのように関わっていますか。(複数回答)

・ 自家用井戸を利用している	58.4%
・ 水道（上水道・簡易水道）を利用している	30.4%
・ 自家用井戸と水道（上水道・簡易水道）を併用している	13.9%
・ 自宅の水が、どのように供給されているのか知らない	3.0%
・ 地下水を消雪に利用することがある	23.1% ^{※1}
・ 年に数回は湧水地（御清水や本願清水など）に行くことがある	10.5%

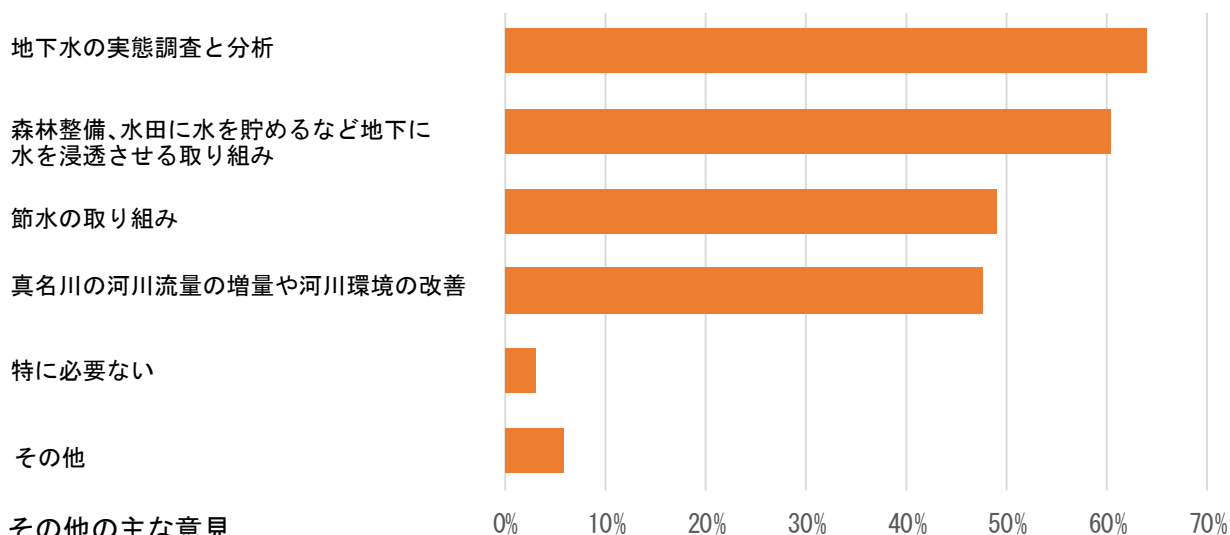


※1 回答者には、大野市地下水保全条例で地下水融雪を禁止している抑制地域以外にお住まいの方を含んでいます。

地下水の保全について

問2 あなたは、地下水を守るために、行政がどのような取り組みを行うべきと考えますか。
(複数回答)

・ 地下水の実態調査と分析	63.9%
・ 森林整備、水田に水を貯めるなど地下に水を浸透させる取り組み	60.3%
・ 節水の取り組み	48.9%
・ 真名川の河川流量の増量や河川環境の改善	47.5%
・ 特に必要ない	3.0%
・ その他	5.7%



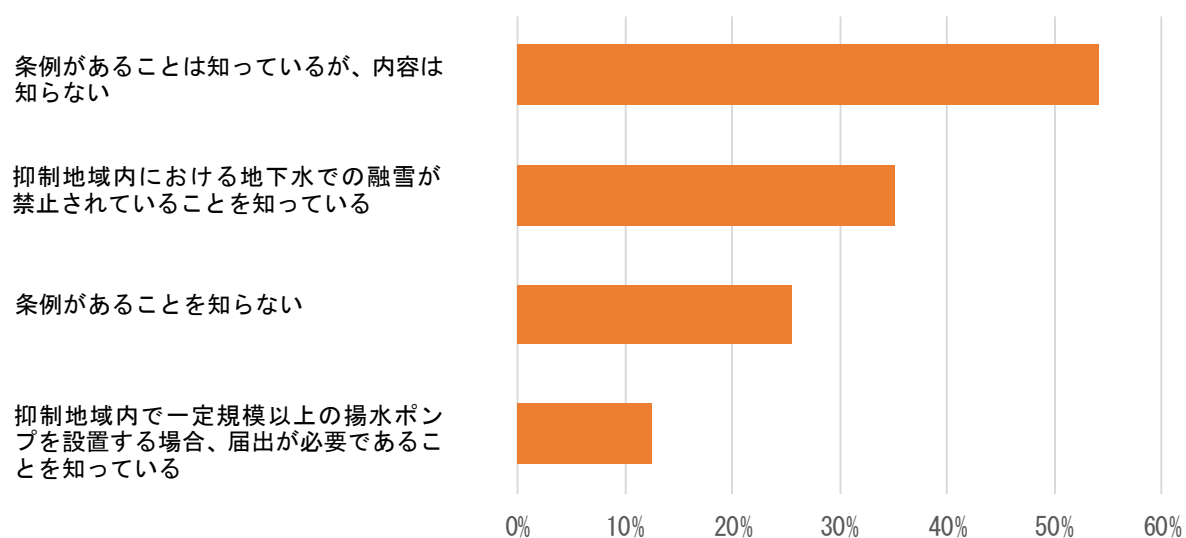
その他の主な意見

- ・ 地下水融雪の禁止
- ・ 真名川の河川流水の改善
- ・ 土壌調査
- ・ 主用用水路の一定区間を浸透性の水路に取りかえる
- ・ 畦畔や非農耕地での除草剤使用の抑制
- ・ 水源地や湧水のある山などが、外国人や外資系企業に買収されないよう規制する
- ・ 雪を活用して水として使える仕組みを考える
- ・ 学校での環境教育（小・中・高）
- ・ 水を汚さないために、工場や店（クリーニング店、飲食店）等を監視する
- ・ 消防署と連携して危険物の貯蔵タンク（埋蔵型）の老朽化案件（ガソリン等の漏洩リスク）がないか調査。必要に応じて処置の費用を助成する
- ・ 上水道の整備と使用の義務化
- ・ メーター取り付けによる利用量の把握。大量使用箇所の有料化
- ・ 河川環境整備

地下水の保全について

問3 あなたは、大野市地下水保全条例についてどのようなことを知っていますか。
(複数回答)

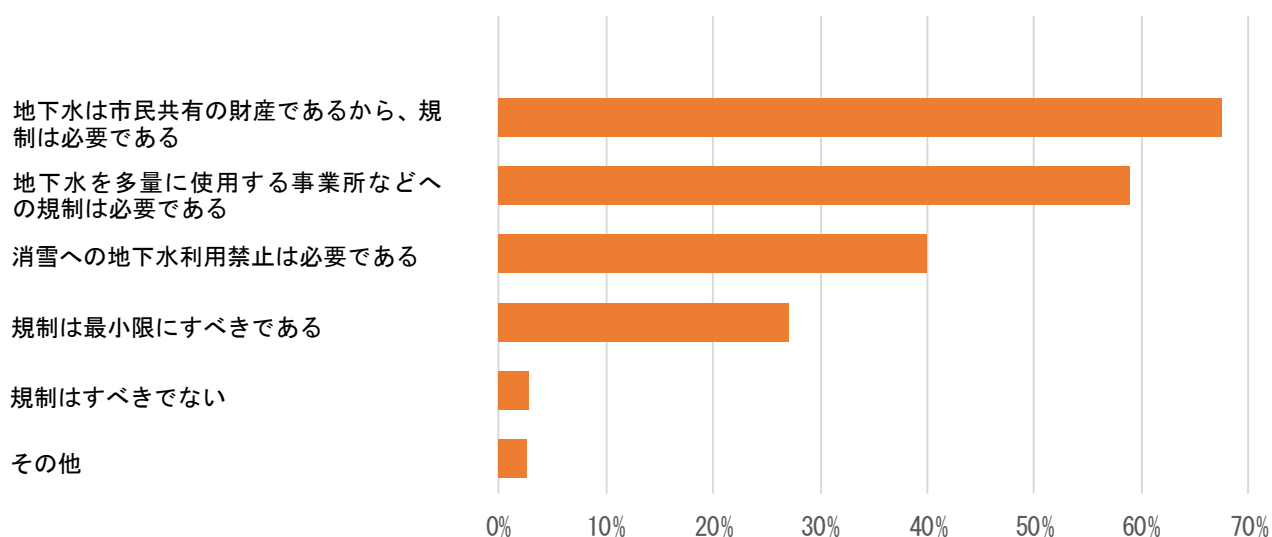
- ・ 条例があることは知っているが、内容は知らない 55.2%
- ・ 抑制地域内における地下水での融雪が禁止されていることを知っている 35.9%
- ・ 条例があることを知らない 26.1%
- ・ 抑制地域内で一定規模以上の揚水ポンプを設置する場合、届出が必要であることを知っている 12.8%



地下水の保全について

問4 令和3年に水循環基本法が改正され、地下水採取を適正な量に制限する条例を定めることができることが規定されました。こうした中、地下水利用の規制についてどのように考えますか。(複数回答)

- ・ 地下水は市民共有の財産であるから、規制は必要である 67.6%
- ・ 地下水を多量に使用する事業所などへの規制は必要である 58.9%
- ・ 消雪への地下水利用禁止は必要である 40.0%
- ・ 規制は最小限にすべきである 27.2%
- ・ 規制はすべきでない 2.7%
- ・ その他 2.5%



その他の主な意見

- ・ 消雪の禁止はやめるべき
- ・ 多量に使用する事業所に規制をかけるべき
- ・ 多量に使用する事業所などへの規制も必要であるが、水への協力金を義務にしてほしい
事業者に限り増額もあり
- ・ 無駄遣いしている事業所等において規制する

地下水の保全について

問5 地下水使用者が、その使用量に応じて協力金を負担し、それを地下水保全の費用に充てるという制度がありますが、この制度に対してどう思いますか。

(カッコ内は前回)

協力金制度に肯定的 77.6% (75%)

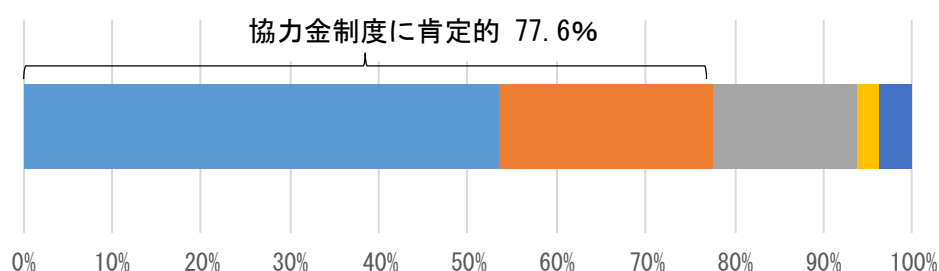
- ・できれば負担したくないが、地下水保全のための費用に充てるのであればある程度の負担はやむを得ない 53.4% (60%)
- ・地下水を使用している者が、その地下水保全の費用を負担することは当然であり、節水意識の徹底のためにも協力金の負担は必要 24.2% (15%)

協力金制度に否定的 16.2% (21%)

- ・いかなる理由があれ協力金を負担することには賛同できない 16.2%

その他 2.5%

無回答 3.7%



その他の主な意見

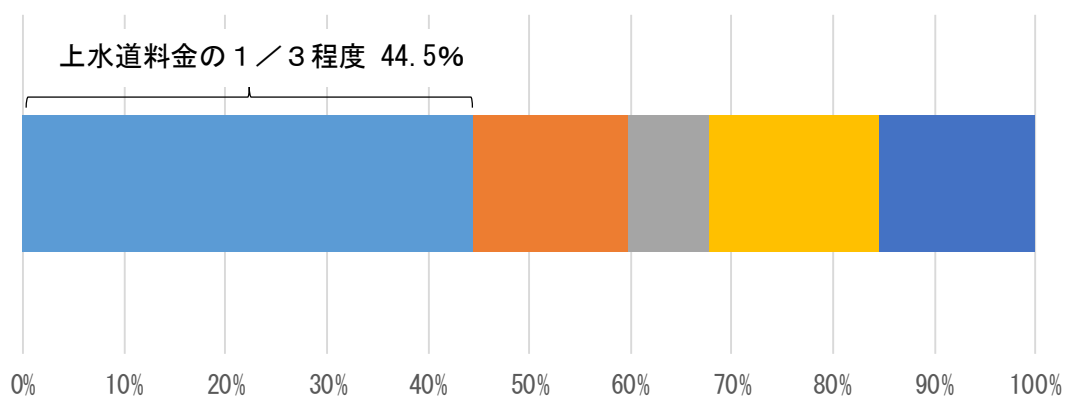
- ・家庭での使用レベルであれば規制は不要。一定以上使う場合は規制すべき
- ・地下水の涵養に対する意識啓発が先。真名川や清滝川、木瓜川の地下水涵養への取り組み意識が大事
- ・制度を採用するなら、下水を市全体に広め価格をおさえてほしい
- ・枯渇時の補償が出来るのなら負担金もやむなし
- ・毎月の下水道代が月 9000 円かかっている。これ以上の協力金はずらい
- ・生活に必要な部分は負担の必要なし。産業等は負担必要
- ・個人と会社等負担金の違いがあるし、必要保全費用もわからないので何とも言えない
- ・協力金の使い道を明確にし、金額もできれば知りたい
- ・自助努力で水を確保しているのに協力金の負担など、考えられない
- ・水資源を守る事は必要。しかし、協力金という名のお金で規制することは良くない
- ・用途を明確にし、市民が納得いくようにしてほしい
- ・お金で地下水量が保全されるとは思わない。お金を支払いする人しか使用できなくなる
- ・地下水と上水道の両方を選択できる人への負担金は考慮すべき

地下水の保全について

問6 あなたは、協力金の負担割合はどのくらいが適当だと思いますか。

(カッコ内は前回)

- ・ 上水道料金の1/3程度 44.5% (42%)
- ・ 上水道料金の1/2程度 15.3% (16%)
- ・ 上水道料金のみ 8.0% (9%)
- ・ その他 16.7%
- ・ 無回答 15.5%



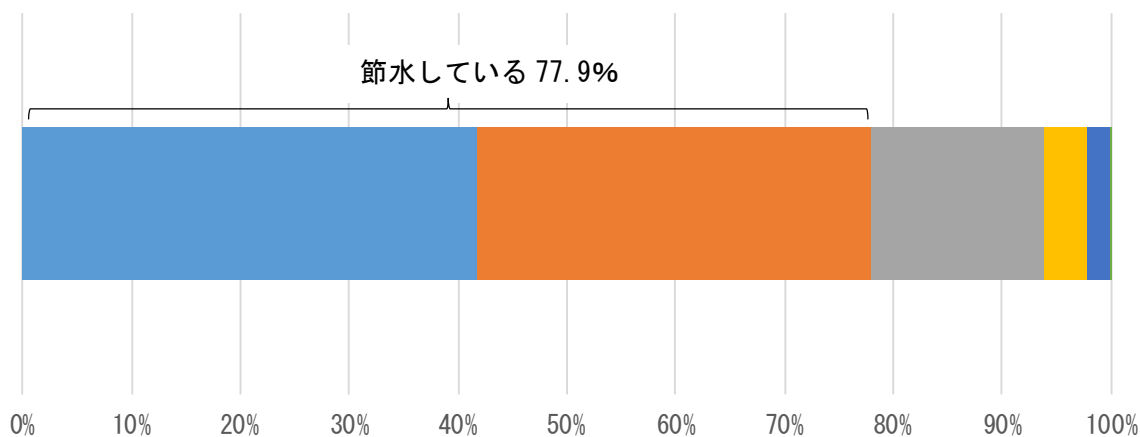
その他の主な意見

- ・ 上水道料金の1/5程度
- ・ 上水道料金の1/10程度
- ・ 上水道料金の1/10以下
- ・ 1/10程度または下水道につなげている家は免除
- ・ 基本料金の1/3位
- ・ 1,000/月程度
- ・ 500円、1000円などの定額
- ・ 1人500円/月
- ・ 家族数、従業員数、想定利用量にて、基準を設ける
- ・ 諸々の地下水確保にかかる費用などを見くらべて算出する
- ・ 使用量に対しての負担が反映されるなら妥当
- ・ 所得によって変える

水の利用について

問7 あなたは、普段の生活で節水をしていますか。

節水をしている	77.9%
・ いつも節水している	41.8%
・ ときどき節水している	36.1%
節水をしていない	19.9%
・ 節水は必要と思いつながら考えずに使っている	16.0%
・ 節水のことは気にせずに使っている	3.9%
その他	2.1%
無回答	0.1%



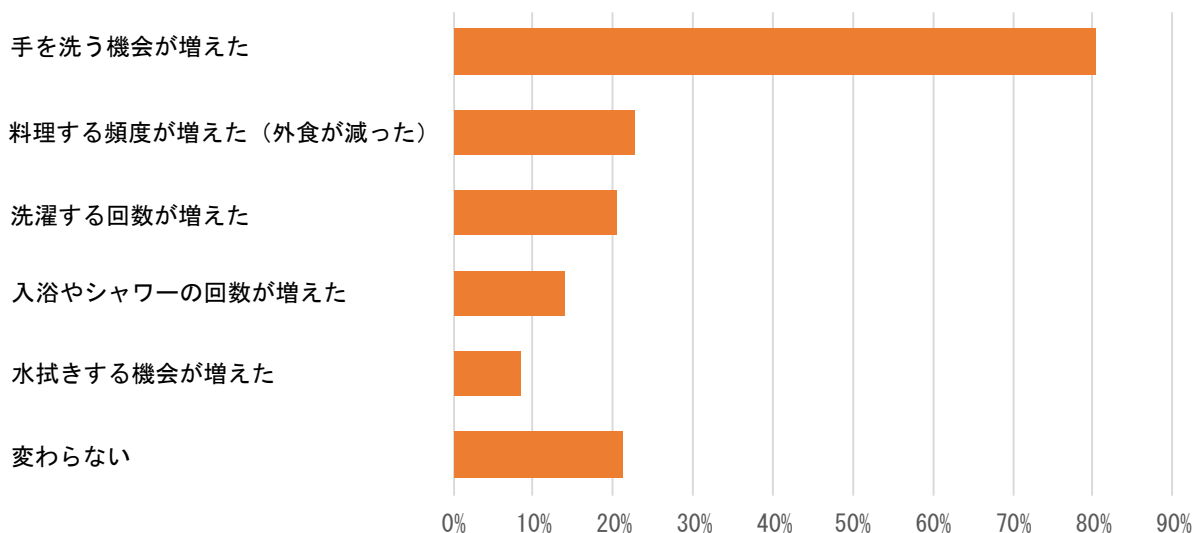
その他の主な意見

- ・ 花の水やり等は雨水を利用している。洗濯用の水もふる水を利用している
- ・ なるべく節水を気にして蛇口のひねりを少なくしている
- ・ 今の節水がベストかわからない、楽しい節水方法を教えてほしい
- ・ 下水料金が地下水量で決定するので節水している
- ・ 川の水を使っている

水の利用について

問8 コロナ禍による日常生活や水への意識の変化はありますか。(複数回答)

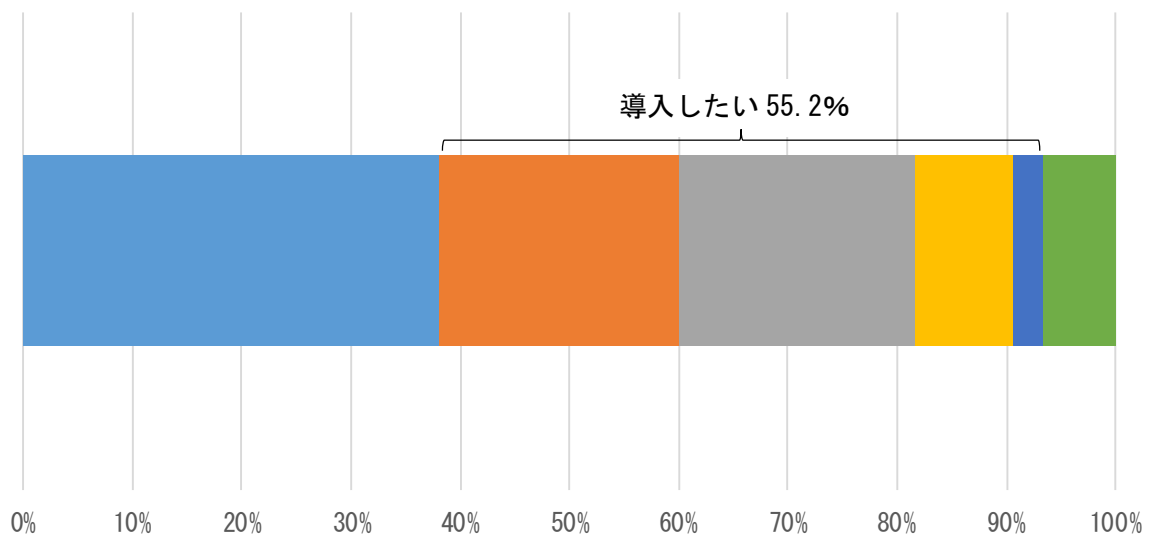
・手を洗う機会が増えた	80.4%
・料理する頻度が増えた(外食が減った)	22.6%
・洗濯する回数が増えた	20.5%
・入浴やシャワーの回数が増えた	13.9%
・水拭きする機会が増えた	8.4%
・変わらない	21.2%



水の利用について

問9 住宅の庭先などに雨水貯留タンクを設置することで、散水や花の水やりなど雑用水に活用できるほか、緊急時の生活用水確保などさまざまな効用があります。一方、設置には費用もかかりますが、あなたは、これらの設備を導入したいと思いますか。なお、雨水貯留タンクは市内のホームセンターなどで1万円台から購入可能です。

- ・ 導入したくない 38.2%
- ・ 半分程度の補助があれば導入したい 21.9%
- ・ 4分の3（75%）程度の補助があれば導入したい 21.7%
- ・ 3分の2（65%）程度の補助があれば導入したい 8.9%
- ・ 市の補助金がなくても導入したい 2.7%
- ・ 無回答 6.6%

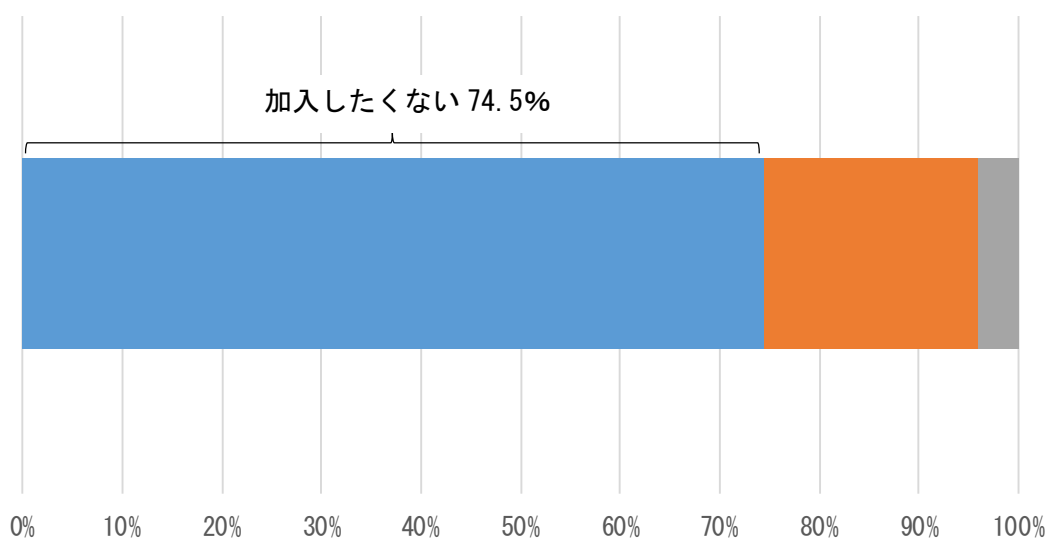


水の利用について

問 10 あなたは、水道（上水道・簡易水道）に加入したいと思いますか。

（問 1 で「自家用井戸を利用している」と回答した人のみが対象）

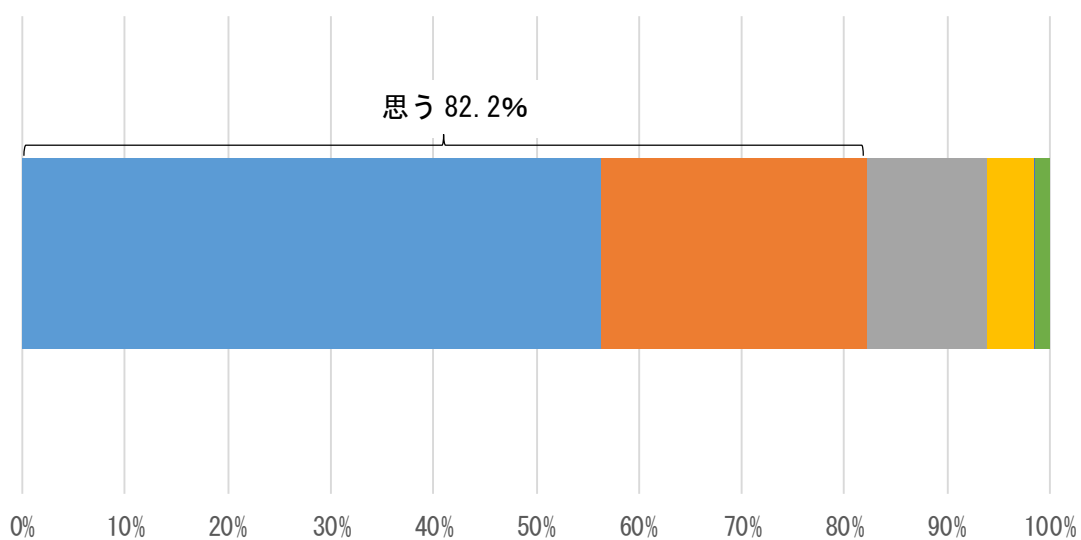
- ・ 加入したくない 74.5%
- ・ 加入を検討したい 21.4%
- ・ 加入したい 4.1%



水環境について

問 11 あなたは、大野市の水や水環境を誇りに思いますか。

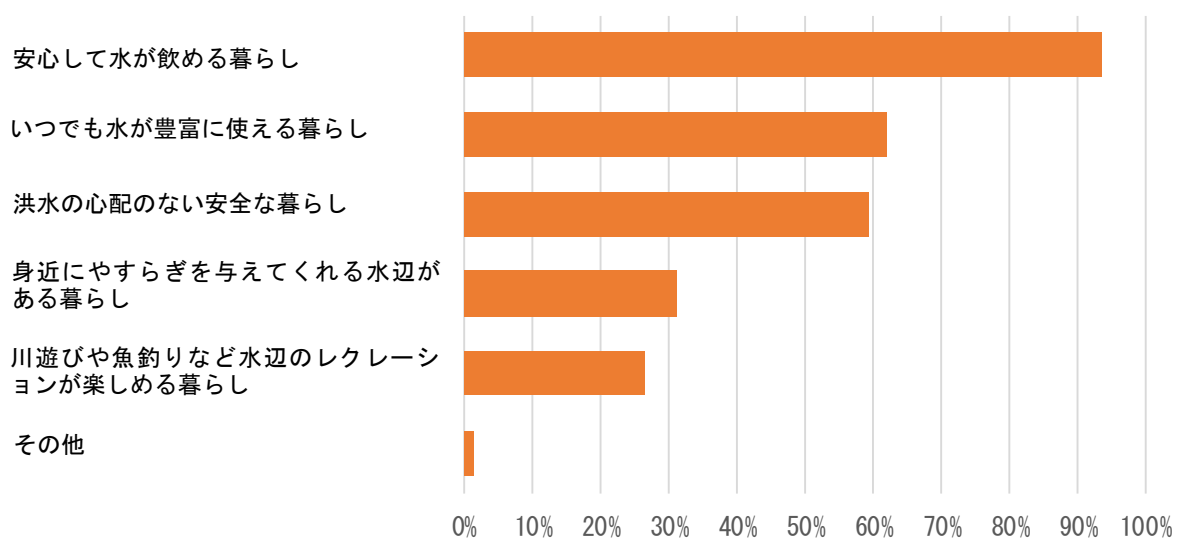
- ・ 思う 56.4%
- ・ やや思う 25.8%
- ・ どちらともいえない 11.9%
- ・ あまり思わない 4.3%
- ・ 思わない 0.2%
- ・ 無回答 1.4%



水環境について

問 12 あなたは、水と関わる豊かな暮らしとはどのようなものと思いますか。(複数回答)

・安心して水が飲める暮らし	93.6%
・いつでも水が豊富に使える暮らし	61.9%
・洪水の心配のない安全な暮らし	59.4%
・身近にやすらぎを与えてくれる水辺がある暮らし	31.1%
・川遊びや魚釣りなど水辺のレクリエーションが楽しめる暮らし	26.3%
・その他	1.4%



その他の主な意見

- ・大雨で冠水しない市街であること
- ・おいしい水を利用したおいしい食材や食品が手軽に利用できる暮らし

問 13 大野市の水環境をより良いものとするため、あなたが日頃感じていることや、地下水保全のためのアイデアなど、ご自由にお書きください。(自由記述)

〔啓発〕

- 地下水保全条例をみんなが知ると良い
- 地下水がどのように流れているのか地図などで分かるようにすると認識が良くなる
- 市民一人一人が水の大切さを感じて、余分なことに使用しないようにする

〔融雪〕

- 冬、水を出している家が多い。一日中出している家を見かける
- 地下水での融雪禁止と日頃の節水を徹底しなければならない

〔協力金〕

- 協力金負担を進め、水の大切さ、節水意識を高め、孫の代までおいしい水が飲めるようにしてほしい

〔水質〕

- 農業をする人が田んぼの畦道に除草剤を使うので水が心配
- 畑、田んぼに除草剤、化学肥料とせっかくの地下水がとても心配
- 大野市の水を守るため、上下水道を各家庭に普及することが早急であり、地下水を汚さない努力をすることが大切
- 少し前に家の水が消毒臭いことがあった。最近はあまり感じませんでしたが、今までそんなことがなかったので原因が気になる
- 簡易水道の為、冬は冷たくおいしいのですが、夏はとても飲めない。大雨の後水が濁ってしまい大変(上庄地区)
- 工場排水に不安がある

〔雨水貯留〕

- 雨水貯留タンクは見たことがないのでわからない
- 雨水貯留タンクは市役所とか公共施設とかには設置しているのでしょうか

〔河川等〕

- 河原の環境保全のためにごみ拾いの奨励
- 降雪時、側溝の水が時々止まり、排雪に苦慮することがある。常時、豊富に流れるようにして頂きたい
- 河川にごみ等を捨てる人を減らすための教育の推進
- 川をごみ箱と勘違いしている人が多いと感じることが多々ある。川下に住んでいるものは迷惑している
- 川にごみを流す人がいる。何か防ぐ方法はないものか

〔その他〕

- 無駄なくみ上げをしている所から考えてほしい。観光目的といっている市にも責任があるのでは
- 下水道工事と上水道工事を同時に施工しないと工事費が増える
- 山をきちんと整備してほしい。上流ダム群との協力体制はどうなっているのか
- 豊かな水資源を持ちながら、「その水」を大切にす行政、市民の姿勢が全く見られない。琵琶湖の管理には学ぶところがあるのでは
- 大野の財産なので大切に皆さんで守りたい
- 地下水で暮らしていける大野を誇りに思う
- 水を大切に思う意識は持ち続けていこうと決めている
- おいしい水を次世代に残したい